

令和元年度 宇佐市興農会被表彰者

(敬称略)				
No.	表彰区分	氏 名 (法人代表者)	住 所	功 績 等
1	農業後継者	なかやま しんいちろう 中山 真一郎	大字山本	平成28年に両親の後を継ぎ小ねぎの専業農家へ転向。平成29年からは主たる経営者となる。就農以降、単収増や品質向上等についてのたゆまぬ努力・研究を重ね、現在では、単収・秀品率で部会内でも上位の成績を収めるなど、今後の宇佐市の小ねぎ生産振興を担う若手の一人として期待される。
2	優良生産農家	はらだ まりこ 原田 真理子	大字木部	子育てをしながらこれまで熱心に農業に従事してきた。 また、木部地区では、地区の農地・農業の維持発展のため平成23年に農事組合法人「木部営農」が設立されたが、構成員として設立に参加、以降、会計担当として法人の経営強化、発展に貢献してきた。 他方、地区の土木会計や交通指導員にも従事、地区の世話役・見守り役としても活躍中。
3	優良生産農家	むらかみ まさゆき 村上 正之	大字正覚寺	経営面積を上矢部地区最大の規模まで拡大する傍ら、裏作である麦についての単収増の研究にも取り組み、その成果を地区の他農家にも伝授し所得向上に貢献、熱心に農業に取り組む姿勢を通じ、地区農家の目標的存在となっている。 また、上矢部地区では、地区の農地・農業の維持発展のため平成22年に農事組合法人「米神ファーム」が設立されたが、中心的存在として設立に尽力。以降法人の理事としても活躍中。
4	農業生産法人	(農) とよくに のうぎょうせいさんくみあい 豊国農業生産組合	大字富山	富山地区には未ほ場整備田が存在し、法人の経営面積についてもその大部分が該当するが、水利が任意に活用できる点を活かした「水稻作期分散型栽培（コシヒカリ→ヒノヒカリ→ユメアオバの順）」に取り組む等、平成21年の法人設立以降、戦略的経営の構築を通じ、地区の農地・農業を守っている。 今後は、米の乾燥受入や大豆の刈り取り等、作業受託の拡大にも取り組む。
5	農業生産法人	(農) おとめのさと おとめの里	大字上乙女	上乙女地区では、水稻や麦栽培が盛んな土地柄であったが、高齢化等によりリタイアする農家が増えたため、地区の担い手による任意の営農組合を経て平成21年の法人設立に至る。 以降高品質で安定した収量生産や機械化・肥料の一括購入等の低コスト化を通じた生産性の高い農業を実現しながら、地区の農地・農業を守っている。